

2026 年 8 月 7 日

NMIJ 認証標準物質ユーザ各位

国立研究開発法人産業技術総合研究所
計量標準総合センター 計量標準普及センター
センター長 阿子島 めぐみ

NMIJ CRM 4220-a 「ペルフルオロオクタンスルホン酸カリウム標準液（メタノール溶液）」
の認証値変更について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ユーザ様におかれましては、平素より NMIJ 認証標準物質をご利用いただき、心から御礼申し上げます。

さて、「NMIJ CRM 4220-a『ペルフルオロオクタンスルホン酸カリウム標準液（メタノール溶液）』の認証値及びその不確かさの妥当性について疑義が生じました。

原料及び当該認証標準物質について追加評価を実施した結果、開発時には十分に評価できていなかった類縁不純物が原料中に存在していたことが確認されました。これらの類縁不純物の影響を考慮して認証値を再評価した結果、認証値を変更する必要があると判断いたしました。

このため、NMIJ CRM 4220-a の認証値を別紙のとおり変更いたします。ご利用中の皆様には、ご心配とご不便をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。また、認証値の信頼性確保のため、認証値の再評価及び認証書改訂に時間を要しましたことにつきましても、併せてお詫び申し上げます。

なお、本件に関するご不明な点やご不安な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

今後は同様の事態の再発防止に努めるとともに、認証標準物質の品質確保及び信頼性向上に一層取り組んでまいります。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

国立研究開発法人産業技術総合研究所
計量標準総合センター
計量標準普及センター 標準物質認証管理室
〒305-8563 茨城県つくば市梅園 1-1-1
nmij-crm-info-ml@aist.go.jp

別紙

NMIJ CRM 4220-a 「ペルフルオロオクタンスルホン酸カリウム標準液（メタノール溶液）」
の認証値変更内容

認証値変更の理由

NMIJ CRM 4220-a について追加評価を実施した結果、開発時には十分に評価できていなかった類縁不純物が原料中に存在していたことが確認されました。これら類縁不純物の影響を考慮して原料純度及び認証値を再評価した結果、認証値の変更が必要であると判断いたしました。

なお、保存期間中における主成分の有意な変化は認められておらず、今回の認証値変更は標準液の劣化や不安定化によるものではありません。

(誤) 認証値

物質名	認証値 質量分率 (mg/kg)	拡張不確かさ 質量分率 (mg/kg)
ペルフルオロオクタンスルホン酸カリウム (直鎖体) (ヘプタデカフルオロ-1-オクタ ンスルホン酸カリウム)	9.93	0.15

(正) 認証値

物質名	認証値 質量分率 (mg/kg)	拡張不確かさ 質量分率 (mg/kg)
ペルフルオロオクタンスルホン酸カリウム (直鎖体) (ヘプタデカフルオロ-1-オクタ ンスルホン酸カリウム)	9.70	0.15